

2011/12 Weekly Bulletin



国際ロータリー 第 2790 地区 第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第 2,326 回 例会 2011 年 9 月 26 日 (水) SAA/白鳥会員 会報担当:常澄会員
例会会場:五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

- ☆ 点 鐘 市原 RC 会長 斉藤 榮志 ☆ ソング それでこそロータリー
- ☆ お客様 1 竹田真砂子 様 小説家 2 八代 様 集英社社員

会長挨拶 市原 RC 会長 斉藤 榮志



先日、市原青年会議所の35周年記念式典に出席して参りました。現在、市原ロータリークラブには三木ガバナー補佐を初め、加藤会員、伊藤会員、常澄会員、万崎会員、平野会員、岡本会員、福原会員、上野会員と多くの市原青年会議所出身者が在籍して おられますが、「修練 奉仕 友情」というある意味ロータリーの「奉仕の理想」という理念と合い通じるところがあると思われる信条を持った青年会議所の会員さんが、卒業後に次のステップとしてロータリークラブに入会なされるのも、ある意味では自然なのかなとも思いました。懇親会で同じ来賓として市原ライオンズクラブの渡邊会長、落合副会計さんと同席となり、お話をする機会を得ました。普段、余り接点の無いロータリーとライオンズですが、いろいろお話をして情報交換をすることが出来ました。

また、アトラクションでマギーしんじ氏の手品があったのですが、演技後のインタビューの中で、彼がこの度の東日本大震災の支援活動を行っているというお話がありました。その中でイベント、公演等の機会に集めた義捐金で、先ず現地のニーズに合ったものを現地の事業所で調達して避難所、仮設住宅等に配るということがありました。現地で購入という形で物資を調達すれば義捐金が2度生きるということになるわけで、普段商売で生計を立てている私ではありますが、お金は多く回せばより生きるという経済の原則を改めて認識させていただき、目から鱗の支援活動だなと感銘いたしました。2時から始って、休憩を挟んで7時すぎまで5時間余りの長い式典で、多少疲れましたが、いろいろ得ることが多かったことをご報告して会長の挨拶とさせていただきます。

幹事報告 幹事 山本 順也

来週の例会は市原中央高校インターアクトクラブとの交流会です。五井グランドホテルにて10月8日(土) 12時~13時半ですので、ご注意下さい。

委員会報告



RI新世代奉仕委員会委員長

9/17 塩釜市ホテルグランドパレスに於いてロータリー・コーディネーター・セミナー開催され出席してまいりました。

メインプログラム



竹田真砂子 様 小説家

「 時 間 を 旅 す る 」

概 要

現在を知るにはまず過去を確認する必要がある。視点を現在から逸らさずに後退りの感覚で時間を立体的に見渡すと、今何をすべきかのヒントが得られる。日本が近代国家に生まれ変わる時、悪い時代として封じ込めてしまった江戸時代には、実は、決められたシステムを最大限に活用して生きる賢い人々が大勢いた。

ニコニコ・Sorryボックス

- 齋藤会長・山本幹事 竹田様、本日は教養深いお話をありがとうございます。
- 三木会員 竹田先生、ようこそ 遠方までお越しくださいました。
- 常泉会員 竹田さん、ご多忙にもかかわらず卓話を頂きありがとうございます。

出席報告 前々回 100 % 本日出席 34 名 欠席 10 名 出席率 77.2 %